



杉並区議会だより

[発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



新年を祝う、なみすけと獅子舞

今年もよろしく
お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



令和4年
2022年



今号の掲載内容

会派から年頭のごあいさつ	2-3
区政を問う 一般質問 など	4-6
議案等の概要と審議結果	7
区議会基本条例の素案に意見をお寄せください! など	8

令和3年 第4回定例会

第4回定例会は、11月15日から12月3日まで19日間の会期で開催。初日から4日間は、19名の議員が区政一般について質問しました。

今定例会では、補正予算案4件、条例案11件など27議案の審議を行い、区長提出議案25件と議員提出議案1件を原案どおり可決したほか、議員提出議案1件を否決しました。

また、第5回臨時会が11月5日に、第6回臨時会が12月20日にそれぞれ1日間の会期で開催され、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算案を審議し、原案どおり可決しました(議案等の審議結果は7面をご覧ください)。

新年のごあいさつ



杉並区議会議長

大和田 伸

あけましておめでとうございます。区民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、日本選手の活躍に日本中が感動と勇気に包まれました。一方、ワクチン接種や自宅療養者への対応など、長期化する新型コロナウイルス感染症と闘い続けた年でもありました。改めて、医療従事者をはじめ、区民の皆さまのご協力に感謝申し上げますとともに、第6波を見据え、予算や体制の面で準備を怠ることなく、引き続き、区と連携して取り組んでまいります。

さて、社会経済環境が目まぐるしく変化し、先の見通しが困難な状況の中、区では昨年、今後概ね10年の区政の道筋を指し示す羅針盤となる「新たな基本構想」を策定しました。

また、区議会では、議会における責任と役割を明確化した「杉並区議会基本条例」の素案を策定し、区民の皆さまのご意見を伺う段階になりました。

このように区制施行90周年を迎える本年、区と区議会は、さらなる区政発展のための新たな一歩を踏み出します。杉並区をより暮らしやすく魅力的なまちにするため、皆さまと一丸となって歩んでまいりたいです。

本年もよろしくお願いいたします。

杉並区議会 自由民主党

新年おめでとうございます。2年に及ぼうとするコロナ禍の中、区民の命を守り、また感染の再拡大を防ぐべく、今なお弛まぬご尽力をいただいております医療機関をはじめエッセンシャルワーカーの皆様、区内事業者の皆様方に改めて感謝申し上げます。

昨年は1年のうち、211日間が緊急事態宣言下、また34日間がまん延防止措置下での暮らしを余儀なくされることとなり、まさに区民の生命と生活が甚大な脅威にさらされ

た年でありました。一方で、2月より順次ワクチン接種が始まり、2回目を終えた方が区全体の約8割に達する頃には、感染者数が激増した第5波にあっても死亡率では第4波の約10分の1と激減し、コロナと向き合いながらも経済活動の再稼働が窺えるフェーズに入りました。

この間、私共党派は「区民の生命と生活を守る」という行政に課された最大の使命を議会の立場から後押しすべく、6度に渡り計30項目の緊急要望を区に提言し、13次に及ぶ補正予算において、ワクチン接種やコロナ対策、区内事業者支援等の各事業について、区民の皆様から頂いたご要望ご指摘の反映に努めてまいりました。さらに本年は、新たな変異株の状況を注視しながら、3回目接種をはじめ第6波への備えを総点検するとともに、新たな日常への移行を推し進めていく中で、区内経済の立て直しを図っていかなくてはなりません。

そうした中、区政においては、今後概ね10年の道筋を照らすこととなる新たな基本構想、そして、それらを実現するための総合計画等がこの4月から新たにスタートすることとなります。コロナ禍も

たらしたデジタル化の要請から、行政サービスと業務のデジタル対応を全庁的に推し進め、また私共党派がかねてより提言し続けてきた、産官学金民の連携を発展させる新たな協働、公民連携プラットフォームが創設されることとなり、区政運営の様々な場面への区民や民間事業者の参画を通して、まさに区民と共に歩む10年が新たに幕を開けます。

待機児童ゼロ継続に伴う保育の質の確保や待機児童の解消、施設再編整備の行方など、引き続き区政の諸課題に取り組む上で、私たちは区議会最大派の矜持を持って、地域の皆様のお声にお応えできるよう精進してまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



脇坂 たつや



吉田 あい



大熊 昌巳



小川 宗次郎



井口 かづ子
(副幹事長)



井原 太一



大和田 伸



今井 ひろし



浅井 くにお



安斉 あきら



わたなべ 友貴



國崎 たかし



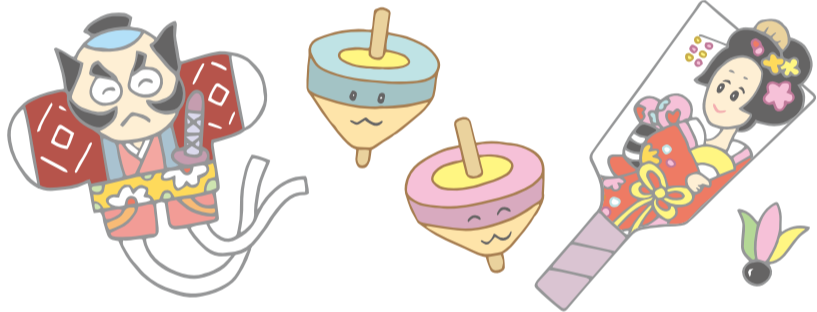
矢口 やすゆき



松浦 威明



大泉 やすまさ
(幹事長)



日本共産党 杉並区議団

新年おめでとうございます。日本共産党杉並区議団は、本年も区民の命と健康、暮らしを守る取組に全力を尽くします。

コロナ禍のもと、住民生活の守り手となるのは基礎自治体の責務です。一方、杉並区は国民健康保険料の連続値上げや児童館・ゆうゆう館等の大規模削減を強行しています。

さらに、街を壊す都市計画道路整備や駅前再開発にも莫大な税金が投入されています。田中区長の区政私物化も深刻です。党区議団調査により、昨年の緊急事態宣言下に田中区長が公用車を使用し群馬県のゴルフ場へ移動、区内経済団体と飲酒・会食、宿泊等をした問題が明らかとなり、全国的に取り上げられました。

党区議団は、杉並区政のチェック機能の役割を果たし、徹底調査に基づき、住民目

線・住民の立場でこれらの問題を追及してまいりました。さらに、昨年、私たちは高齢者の補聴器購入費助成に関する条例提案を行い、住民福祉の向上に向けた取組の拡充を求めました。今議員任期で住民の生活に関わる条例提案を行ったのは、杉並区議会で唯一、日本共産党杉並区議団だけです。

コロナ危機を乗り越え、住民が主人公の区政を目指して、本年も全力を尽くします。



金子けんたろう
(副幹事長)



くすやま 美紀



山田 耕平
(幹事長)



富田 たく



野垣 あきこ



酒井 まさえ

立憲民主党 無所属クラブ

新春を迎えるに当たり区民の皆様のご健康と、ご多幸をお祈り申し上げます。コロナ禍での年明けとなりましたが影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

昨年は区政の今後10年の羅針盤となる新たな基本構想が策定されました。

SDGs(国連による持続可能な開発目標)を、あらゆる政策の土台に据えるよう党派要望を続けて実現しました。誰一人取り残さない社会を目指し、区政の各施策の課題

を広く区民と共有し解決を図るよう提言を続けていきます。区民生活や教育、福祉、また都市整備分野と区内の課題は山積ですが、それに留まらず、地球規模で取組が進む2050年カーボンニュートラル実現に向け、住宅都市の

杉並だからこそ可能な施策を打ち出し、区民と共に進めながら大きく実りを感じられるよう、私たちは全力で挑戦してまいります。

本年も多くの区民の皆様からのご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



山本 あけみ
(副幹事長)



太田 哲二
(幹事長)



ひわき 岳



川野 たかあき

杉並区議会

新年おめでとうございます。2年にわたるコロナ禍の中、厳しい生活を強いられている方も多いと思います。希望の未来が見えますようお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策を中心に、令和2年度は14回、令和3年度はすでに13回の補正予算を審議、可決いたしました。医療体制強化や医療従事者支援、PCR検査やワクチン接種体制の整備、中小事業者への信用保証料全額補助や新ビジネススタイル導入支援障がい者福祉・介護保険サービス等の事業継続を支援。生活や子育て、教育の面では特別定額給付金や子育て世代への臨時特別給付金の支給、児

童・生徒1人1台専用タブレット端末の配備など、皆様のお声を施策に反映させてまいりました。また、コロナウイルス「第6波」への備えや、3回目のコロナワクチン接種、5歳以上のワクチン接種についても予算化いたしました。

本年は新たな基本構想スタートの年となります。私たちが取り巻く社会経済環境は、かつてない速さで大きく変化していくことが予想されます。デジタル変革、超高齢社会、気候危機・脱炭素化や首都直下地震など、諸課題が山積しています。皆様に安心していただけるよう、わが会派は「小さな声を聴く力」、ネットワークの力を存分に発揮し、今後も迅速に諸課題に取り組んでまいります。



川原口 宏之 (副幹事長)



大槻 城一



渡辺 富士雄



島田 敏光 (幹事長)



山本 ひろ子



中村 康弘



北 明範

無所属・少数会派連携

新年おめでとうございます。私たちは無所属議員として意見を相互に尊重しながら、一人一人で活動しています。その一方、コロナ禍を口実とした予算審議の短縮や、田中良区長の介入による議案審査の打ち切り等、現区政の横暴を看過できず、連携して議会改革に着手しました。

社会の移り変わりとともに杉並区民の意見も多様となり、多くの人が当たり前と感じるような「普通」が存在しない時代となりました。これからの時代は多様なものの考え方が議会審議に反映されるのが重要です。そもそも杉並区議会議員は国会と異なり、区長とは別の選挙で選ばれています。私たちは賛否を無理に一致させる「党議拘束」で個々を縛り付



堀部 やすし



奥山 たえこ (総務)



木梨 もりよし



松尾 ゆり



佐々木 千夏



田中ゆうたろう

ける政治ではなく区民本位で緩やかに連携しながら区政のチェックに取り組んでいます。この2年、新型コロナウイルスにより社会は大きく変化し区政も役割を問われました。感染された皆様へお見舞い申し上げますとともに、医療従事者はじめ、関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。私たちが感染予防と生活支援に知恵を出し合い、全力を尽くします。感染の一日も早い終息と、本年も皆様のますますのご健康とご多幸を切に願ひ、ご挨拶と致します。

いのちの平和クラブ

新年おめでとうございます。昨年も続いた厳しいコロナ禍は、社会的に弱い立場の方々の生活を直撃し、爆発的な感染拡大は医療機関の逼迫を招き、多くの区民に不安な自宅療養を強いることとなりました。その教訓から区がいち早く第6波に向けた体制の準備に着手したことを確認しました。医療や介護、教育・保育など誰もが安心して暮ら

すためのしくみを作り、引き続き、命や暮らしを支える現場の支援に私たちも取り組んでまいります。また、世界的規模で若者が立ち上がった気候危機対策では、区民から出された陳情に応え、区民や杉並区とともに脱炭素化に向けた実効性ある取組を進め、次代に持続可能な地球環境を引き継げるよう尽力していきたいと思ひます。コロナに負けず、人とひととのつながりを強め、国籍や障がい、性別の違いなど多様



けしば 誠一



新城 セツコ (幹事長)



奥田 雅子



そね 文子 (副幹事長)

性認め合い、人にやさしく共に生きる福祉第一の杉並を目指してまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

新年おめでとうございます。コロナ感染症による影響の大小は、社会的格差をそのまま映し出したものになっていきます。非正規の若年労働者、女性労働者を直撃しています。コロナ禍からの「回復」が叫ばれていますが、若者・女性の困難な現況を放置することは許しません。本年も皆さんと共に行動し、全力を挙げていきます。



ほらぐちともこ

都政を革新する会

自民・無所属・維新クラブ

新年おめでとうございます。昨年も新型コロナウイルス感染症の流行が続きました。影響を受けられた皆様方にお見舞い申し上げますとともに、最前線に対応してこられた医療従事者等の皆様方に心より感謝いたします。

杉並区では令和4年度から新しい基本構想のもと、区民生活のさらなる向上に取り組んでまいります。コロナ禍を乗り越え、より良い杉並区を実現するためには、議会と行政が力を合わせて課題に向き

合わねばなりません。しかし、いわゆる「馴れ合い」の関係になって双方に緊張感が欠けてしまつては、適切な解決策を見つかることはできません。私たちは、議会本来の役割を常に意識し、田中区政に対してこれまで同様「是々

非々」の立場で臨んでまいります。結びに、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、区民の皆様方にとって良き年頭のご挨拶とさせていただきます。



藤本 なおや (副幹事長)



岩田 いくま (幹事長)



松本 みつひろ



小林 ゆみ

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

11月15日～18日に19名が質問しました。その要旨をお知らせします。

※2次元コードを読み込むと、質疑応答の全容を質問者別の動画でご覧になれます。

※1
BCPとコロナ対策
—
非常事態下での区の業
務執行について



中村康弘
(公明)

問 コロナ対策で、区が状況分析や政策判断を行うに当たって、最も重視してきた指標・データは何か。また、それらをどのように活用してきたのか。



答 指標は区内日別患者数および区内医療機関の病床利用率で、保健所に対する応援職員の数や期間を決める基準を定める際や、区内医療機関との病床数確保・入院調整などに活用。

問 コロナ禍での新たな業務や既存業務の増大に対応するため、業務量の変化と人員配備についての分析、各所管や人事との調整はどのように行われてきたか。また、最も困難であった点は。

答 全庁の応援体制については、対策本部の決定に基づき、各部に応援職員数を割り振っている。最も困難なことは、異動可能な職員を確保することであった。

問 BCPの検証・改善について、また実効性を高めていくための取組について、所見を伺う。

答 BCPの検証・改善を行い、実効性を高めていく必要があると認識。区組織を総動員して対応に万全を期していく。

新しい行政計画における
児童虐待防止、保育、
教育について



今井ひろし
(自民)

問 児童養護施設などで育った社会的養護の経験者、ケアリーパーへの支援について問う。

答 児童養護施設の意見も聴きながら、今後、様々な視点からの支援策を研究していく。

問 保育施設の整備について、実行計画では減少しているが、今後どのような方針なのか。

答 待機児童ゼロの継続だけでなく、認可保育所を希望する全ての方が認可保育所に入所できる環境を整えていく。

問 ヤングケアラーについて教育部門でも対応すべきと考えるが、区教委の見解を問う。



答 子ども家庭支援センターとも連携を図りながら、早期に発見し適切な関係機関につなぐ役割を果たしていく。

問 不登校生徒への対応や自殺予防への対応を計画に位置付ける必要があると考えるが。

答 「教育ビジョン2022推進計画」において、個々の子どもに応じたきめ細やかな対策について位置付けていく。未来を担う子ども一人一人が自分らしく生きることのできる「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を進めていく。

首都直下地震に備え、
小中学生へ防災ヘルメツ
トの配備を!



浅井くにお
(自民)

問 新たな基本構想が目指す「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現に向け、杉並区みどりの条例やみどりの基本計画の、生物多様性を重視した改正を。

答 みどりの基本計画改定を予定しており、みどりの条例等についても検討したい。生物多様性をはじめみどりの持つ多面的機能を活かすグリーンインフラを活用したまちづくりを進める。

問 首都直下地震から尊い命を守るため全小中学生に落下物から頭を守る防災ヘルメットの配備を重ねて要望するが、この間ヘルメットの導入をしなかった理由を含め導入するの見解を。

答 ヘルメットの収納や置き場を考え折り畳み式を検討してきたが、低学年は装着が難しいことや壊れやすいなど課題があり、引き続き調査・検討する。

問 旧杉並中継所(不燃ごみ中継所)の活用検討は、地域の活性化や地域貢献できる施設とするため、地域から丁寧に見聞を聴くべきだと考えるが、どのような意見があったか。



答 スポーツや文化を楽しめる場所、憩い・交流ができる場所を望む声が多く寄せられている。

災害時要配慮者支援は、
公助を「全集中」する
べきです!



わたなべ友貴
(自民)

問 現在、災害時要配慮者は、在宅避難ができない場合、震災救援所へ避難することになっている。しかし、避難所生活が困難と事前に分かっている方と平時から個別に受け入れ調整を行った上で、福祉救援所を1次避難場所に指定するべきでは。

答 国のガイドラインや他区の動向を踏まえ、区内協議体の意見を伺いながら、福祉避難所へ要配慮者が直接避難する仕組みづくりやその運用等を検討する。

問 区の新たな計画では、災害対策基本法で自治体の努力義務になった個別避難支援プランの作成を新たに目標設定するなど、精力的な取組が必要では。

答 区としてはまず、地域のたすけあいネットワークの登録者を増やすことが重要と考える。

問 新総合計画で重点施策に位置付けられた災害時要配慮者対策について、今後10年余りの区の取組への決意は。

答 共助による災害時要配慮者支援の充実を一層深化させ、個別支援プラン作成の推進や福祉救援所の機能強化への取組内容の充実を図ることにより、防災対応力の強化を推進していく。

子供たちが、のびのび
と賢く心豊かに育つた
めに



井原太一
(自民)

問 子供ののびのびと心豊かに育つためには、安心できる居場所・安全基地である家庭の在り方が大切だ。区の見解を問う。

答 家庭・学校・地域がそれぞれ役割と責任を自覚した上で、一体となって子どもを見守っていくことが必要不可欠。今後も、家庭・学校・地域と協力し、子どもの育ちを支えていく。

問 教育基本法は子の教育についての第一義的責任は父母その他の保護者にあるとし、自治体には家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう規定している。区は保護者にどのような支援をしているのか問う。

答 これまでも保護者同士の学び合いやつながりづくりを支援してきた。今後は家庭教育の支援をさらに進めていく。

問 場当たり的ではなく、保護者が求め必要とする情報を体系的に提供できる仕組みが必要だと考えるが、区の取組を問う。

答 学校では、児童・生徒や保護者に寄り添い、適切な援助や家庭への支援に努めている。子ども家庭支援センターでは、親子関係の調整を行う要支援ショー

みどり・環境の取組の
推進は大切。今後の区
の取組に期待



井口かづ子
(自民)

問 遊休区有地等を活用した太陽光発電事業の調査・研究について、候補としている区有地はどこで、実現するための課題はどのようなものがあるか。

答 候補地は富津学園跡地と南伊豆健康学園跡地を想定。どちらも相当量の発電が見込め、設備の設置に適した用地であり、実現可能性は高いと判断している。実現に向けた課題は、予定地の自治体を含む関係機関との調整や、設備の設置と維持管理に係る経費の軽減化などがある。関係機関、事業者等の理解と協力を得て、これらの課題を早期に解決し、事業の実現を目指す。

問 「すぎなみエコチャレンジ」事業は各家庭での省エネの取組を推進するものと理解しているが、事業概要とその狙いについて、前年度使用量より区で定めた基準以上の削減ができた場合、その削減率に応じて何らかいんセンティブを付与することで、区民等のエネルギー削減の取組を推進するもの。この事業を通じて、区内の温室効果ガスの削減を推進していく。

用語説明

※1 BCP = Business Continuity Plan (業務継続計画)の略で、自然災害や感染症の流行、テロ攻撃などの危機的状況において、中核となる事業の継続や早期の復旧を図るための計画のこと

デジタル商品券事業の課題追及/ナッジの活用を提案



松本みつひろ (無維)

ポイント還元ではなく、ブラウザ上で区独自の商品券事業を行うこととした検討経過は。



ポイント還元の場合、紙商品券との重複利用が制御できず、還元ポイントが区外店舗でも利用可能で、決済手数料等の店舗負担が生じる可能性がある。

デジタル商品券の「使いやすさやわかりやすさ」について、第三者のレビューを得ていたか。

委託事業者が他自治体で同事業に利用した実績があり、その利用者・参加店舗の意見等、第三者のレビューを得ている。

今後、全庁横断組織がシステムの「使いやすいわかりやすさ」など効果的なデジタル化を主導する役割を担っていくか。

全庁横断組織をつくることは検討段階だが、デジタル化を全庁的に進めていくために、一元的に関わっていく組織は必要と考えている。コンサルタントの活用とあわせ検討する。

新たな総合計画等の推進において、EBPMをどのように活用していく考えか。

計画の進捗管理を行ってきたP.D.C.Aの各サイクルにEBPMを取り入れる方向で検討。

区立園で重大案件発生。保育の質はここまで落ちてきている！



田中ゆうたろう (連携)

先の衆院選で、石原のぶて氏は積極的な移民の受け入れを是とする内容を発言。日本の国会議員の器ではない。田中区長が石原氏を応援した理由は。

石原氏にはコロナ対策等、日頃より田中区政に協力いただき、本人から支援要請もあった。

自宅療養者の死亡は区の責任。住民に責任転嫁するな。

区にも責任の一端はあるが、全ての責任があるとは言えない。

区立永福南保育園で不適切保育や、パート保育士へのパワハラが行われた疑いがある。



児童が腹痛を訴え、パート保育士がトイレに誘導したが、担任保育士に制止された。パート保育士は虐待と考え、園長に相談するも、「担任に従うべき」と指導され、恐怖したもの。

今更に放置・秘匿した理由は。区の対応には不信感が募る。

ご指摘は当たらない。

座・高円寺の指定管理者による会計不正が発覚。昨年度私の区長への問責の妥当性が証明された。区長は真摯な謝罪を。

その考えはない。助成金未計上は遺憾。再発防止に努める。

コロナ禍の中の区民生活に向け細かな支援と省エネ住宅支援



山本あけみ (立民)

コロナ禍の出生数減少を危惧。安心して妊娠・出産ができるよう、どう取り組んできたか。



妊娠届時ゆりかご面接をオンラインに、パパママ学級なども継続実施、さらに心身の不調や育児不安のある産後母子対象に新たな産後ケアを開始。今後もしばしば支援を実施する。

労働者協同組合が成立し、働く人自らの声を反映した多様な事業・労働形態のもと、主体的な労働をしていく「協同労働」の組織は、地域社会の課題に取り組みむ役割が期待されるが。

地域の多様なニーズに応じた事業を促し持続可能で活力ある地域社会実現に資する目的と認識。新協働推進計画で多様な主体と連携協力し地域課題解決を図る。期待を込め動向を注視。

都と区の連携を大きく打ち出し、早期に区内の新築住宅を全て東京ゼロエミ住宅にしている。都が独自に設定した基準達成の断熱や省エネ性能水準が高められた住宅であり、ゼロカーボンシティを目指す観点からも普及は望ましい。周知の工夫を行い、広く普及するよう努める。

生物多様性を主流化し、分野横断的な地域戦略の策定を！



奥田雅子 (平和)

区のみどりの基本計画改定には、グリーンインフラを活用した都市環境の整備の全体にわたる事業が盛り込まれるのか。

みどりの基本計画は「みどり豊かな住まいのみやこ」の実現のための計画であり、実行計画の施策11に含まれる事業は、その骨格を成すものと考えている。

自然環境調査報告書等のデータや分析今後の取組の提言をどう施策に生かしているのか。

生物多様性に配慮した公園整備や外来種への対応等の環境保全の取組や区民向け講座による人材育成などに生かしている。

遅野井川親水施設づくりの評価と今後の生かし方は。



施設の構想・設計や完成後の管理に地域住民が参加し、親しまれる施設となった成功事例である。今後も区民との協働で多様な動植物が生息・生育・繁殖できる環境づくりに努める。

生物多様性地域戦略の策定では、専門家の力の活用と区民の意見等が出せる機会の確保を。

生物多様性の保全は取り組みむべき重要な課題だと認識し、幅広い視点からのアプローチにより、多角的に研究していく。

杉並区の協働と、行政のデジタル化をさらに前へ進めよう！



小林ゆみ (無維)

杉並区の新協働推進基本方針に、区は協働にさらに力を入れることになったことが示されている。区の協働の目的や、これまでとの違いは。

複雑かつ高度な地域課題の解決のため、新たな協働の仕組みづくりが必要。協働の専門アドバイザーを登用し、知見やノウハウの活用を図る。

3年5月実施の杉並区区民意向調査の結果の「区のデジタル化の現状についての満足度」によると、「とても満足している」が全体の3・2%という結果で、杉並区のデジタル化はまだだ。さらに全体の52%の方が「わからないと感じている」との結果だが、区の見解は。

区民の理解を深めていく。

3年前に私がチャットボットの導入を勧めた時は「これから研究したい」という答弁だったが、今回杉並区が新しく示したデジタル化推進計画では、粗大ごみに関する質問応答にチャットボットの導入が予定されている。ごみ以外の分野での導入の予定は。

実績や導入経費等を勘案しながら、是非を判断していく。

危険なリニアと外環地下のトンネル工事に万全の対策求める



けしば誠一 (平和)

リニア中央新幹線のトンネル工事現場の死傷事故は、事前に地質状態を十分把握しないまま工事をしてきたのではないか。

警察や労働基準監督署等が調査を行っており、シールドトンネル施工技術検討会で今後の取組方針が示されるものと認識。

地盤工学の専門家が、シールド機の閉塞解除などで起きた振動がエリア全体の表層地層を緩めた可能性を指摘しており、国・事業者の判断を伺う。

検討状況がまとも次第、報告があると聞いている。

南行きマシンで緩んだ周辺の地盤が北行きマシンの掘進で揺さぶられれば、周辺の地盤や家屋への被害が拡大する恐れがあると思うが、国の判断は。



北行きシールドトンネル工事の再開については、現段階で見通せる状況にないとのこと。

「トンネル工事の安全・安心」の取組みについて、見直しを行う場合は、住民の緊急避難計画が示されていないければ実効性は高くないと考えるが。

見直し予定はないと聞いているが、事業者に対して、住民の不安を解消できるよう求める。

総選挙、在外投票、無効票の課題。独居高齢者の見守り制度



奥山たえこ (連携)

今回の総選挙は日数に余裕がなかった。苦慮した点を伺う。

選挙のお知らせ等印刷物やポスター掲示場設置などに苦慮。在外投票の課題は。

国際郵便による投票は日数がかかり、インターネット投票が求められている。今回投票日以降に届いた投票用紙は3票。

区長選挙日程はいつ決定するのか。参議院選挙と同日執行にするため日程変更は可能か。

任期満了のおおむね6カ月ほど前に決定する。

今回、用紙が同時交付された。どのように処理したのか。

入れ間違えても無効票とならない。今回投票箱を3つ用意し、表にはそれぞれの、裏面には3つの選挙名を表示した。従ってどの投票箱に入れても有効。一斉に開封し適正に処理した。

たすけあいネットワークは見守りをしてもらえる大変重宝する制度だが、利用状況ははばばかしくない。高円寺地区の見守り世帯数の割合とその理由は。

登録者は15名、0・15%。一層の周知とともに、ケア24での相談の際に高齢者のニーズに応じた制度を紹介していく。



用語説明

※2 EBPM = Evidence Based Policy Making(証拠に基づく政策立案)の略で、信頼性や客観性の高いデータに基づき政策を企画すること
※3 座・高円寺=杉並区立杉並芸術会館のこと

高齢者雇用施策の充実で、高齢者の豊かな生活づくりを！



大槻城一 (公明)

超少子高齢社会が進む今後10年を展望したとき、健康維持経済対策、社会との交流など、高齢者の豊かな生活づくりに、高齢者雇用施策がますます重要な課題と考えるが、見解を伺う。



区には100歳以上の方が421名おられ、健康寿命の伸長に伴い「人生100年時代」が現実的になると見込む。人と

の関わりや社会参加が重要と認識。就労の選択肢を幅広く提供し、誰もが役割をもって社会参加でき、健やかに生涯現役で活躍できる環境づくりを推進する。

シニア向けの就活・就業セミナー開催の増加が有効では。キャンセル待ちが多数。就労相談等も55歳以上が増加傾向。

高齢者雇用の相談窓口は、アクセシブルな施設を望む。就業や趣味、ボランティア活動など、多様な選択ができるよう、コンシェルジュ機能も要望する。

ゆうゆう高円寺南館の相談機能を従来の就労活動支援センター等への統合と併せ、コンシェルジュ機能の充実も検討する。

すぎジヨブは若者就労支援中心だったが高齢者支援拡大を。高齢者部門と連携し、促進

緊急事態宣言下、都外ゴルフ場での飲酒会食は許されない



山田耕平 (共産)

4年度予算編成に関する基本方針は、コロナ禍を理由に実行計画外の新規事業を制限し、原則、補助金新設や増額は認め

ていない。区の姿勢は区民サービスの低下につながる。高齢者施策の23区比較では杉並区は不十分。党区議団が条例提案した補聴器購入費助成は高齢者の生活支援

のためにも実施が求められている。補聴器は購入費助成も含め、難聴高齢者の支援を研究する。



基本構想策定のパブコメでは都市計画道路への反対等の意見が多数寄せられた。補助132号・221号は住民合意を得ていない。中止・見直すべき。

個別路線や計画自体に反対する様々な意見が寄せられた。事業を進める上で貴重な意見として承る。理解を得られるよう丁寧に説明し、着実に進める。

緊急事態宣言下、区長が公用車を使用し群馬県ゴルフ場へ移動。飲酒を伴う会食をしたことも大問題に。公費負担としたことも理解を得られない。コロナ禍で税金の使途を見直すべき。

有意義なやりとりをした。見直す考えはない。今後の実施は適時適切に判断する。

見直す考えはない。今後の実施は適時適切に判断する。

児童館・ゆうゆう館の廃止を伴う施設再編計画は中止を!!



富田たく (共産)

区は施設の改修・改築費が膨大になると区民不安を煽り施設削減を強要してきた。今回発表された施設再編計画第2期案で、区立施設全分野にわたる削減・廃止が盛り込まれたことは

重大。施設の減少は区民の様々な活動に悪影響を与えている。本計画案で32館の「ゆうゆう館」は何館まで減少するのか。

新たに8館が「コミュニティふらっと」になり、これまでの3館と合わせると「ゆうゆう館」は21館となる。

また、41館の児童館が何館にまで減少するのか。廃止またはプラザに転用する児童館は8館で21館となる。

計画に示されない西荻北・善福寺児童館の廃止が区民に与えた影響をどう認識しているか。

戸惑いや詳しい説明を求めた声があったが、丁寧かつ真摯に対応し一定の理解が得られた。

一定と言ったことは一部しか理解していないという事。無理やり、計画にもない廃止を進めるといのは本当に問題だ。

全ての要望に満足できる回答ができたということはないが、今後も理解を得よう努力する。

感染対策、区内道路の安全性、凶悪な列車事件防止策を問う



佐々木千夏 (連携)

第6波による感染拡大、医療逼迫を想定した近隣区からの応援体制をどう考えているか。

当区で第6波を迎えているときには、他区でも医療体制の維持、強化を行わなければならない。近隣の医師による応援体制を組むことは困難だと考える。

吉祥寺の道路陥没事故を受け、区内道路でのへこみ、ひびの発生などこれまでの通報の有無や区で把握している箇所の有無は、もし存在した場合の対策はいつまでになされるのか。

道路の異常を発見された方からご連絡を受けた際は、早急に現場を確認し、応急措置や補修、関係機関への連絡などを行っている。3年度は10月末までに、約130カ所で道路補修等を行っており、速やかな対応と適切な維持管理に努めている。

相次ぐ列車事故を受け、政府に対し、犯人に厳罰を科すなどの法改正を求める要望書を提出すべきと考えるが、区ではどのように考えているか。

事件が社会に与える影響等を考慮して国が判断すべきものであり、現時点では国への法改正の要望書提出は考えていない。

事件が社会に与える影響等を考慮して国が判断すべきものであり、現時点では国への法改正の要望書提出は考えていない。

大きな犠牲を払ったが財政負担軽減にはならない児童館廃止



松尾ゆり (連携)

先の第49回総選挙において、区内東京8区では田中区长が熱心に応援していた自民党の大物議員の落選が全国的にも注目されたが、今後の区政にどのような影響があると考えているか。

国民、区民の暮らしをより良くするための議論をしていた。区立施設再編整備計画(第一期)では、区立施設全体の規模を縮減して財政負担の軽減を図るとして児童館が次々に廃止された。小中学生の居場所が激減し、大きな犠牲を払ったが、

区立施設の総面積はむしろ増加した。そこで、増加した区立施設の総面積および廃止された児童館の合計面積を伺う。

区立施設の増加した総面積は約7万7000㎡。児童館の数は12館で、延床面積合計は約7400㎡。

区立施設総面積が増加するならば、財政負担軽減のため建築コストの圧縮が必要だが、計画案には言及がない。区は工事費の圧縮についてはどのような基準・目標を設けているか。

工事費圧縮の基準等は設けていない。

区が非公開とした決算情報の一部が文化庁から公開された。座・高円寺(区立杉並芸術会館)に関する情報について文化庁に公開請求しなければ情報を取得できない状態は異常だ。

文化庁の公開情報と同様の情報は、今後区でも公開する。文化庁から入手した情報によって、芸術監督(区の特別職公務員)が月額報酬とは別に、区の指定管理事業を通じて副収入を得ている実態が判明した。

なぜ杉並区は隠す?文化庁で初公開された区の非公開情報



堀部やすし (連携)

区が非公開とした決算情報の一部が文化庁から公開された。座・高円寺(区立杉並芸術会館)に関する情報について文化庁に公開請求しなければ情報を取得できない状態は異常だ。

文化庁の公開情報と同様の情報は、今後区でも公開する。文化庁から入手した情報によって、芸術監督(区の特別職公務員)が月額報酬とは別に、区の指定管理事業を通じて副収入を得ている実態が判明した。

区として把握の必要はない。公文書管理のデジタル化について方針や目標を明確化する必要がある。政府は令和8年度までにデジタル化を完了させるとの目標を共有し課題に取り組んでいるが、区はそうではない。

全ての行政機関において統一的な規律や考え方のもとで運用される必要がある。今後の国や都の取組動向を見定める。行政手続きのオンライン化についても成果指標(目標値)が必要だ。都は70%の行政手続のオンライン化を令和5年度までの目標と明確化している。

国等のオンライン化の進捗状況を見定めて判断したい。

国等のオンライン化の進捗状況を見定めて判断したい。

お知らせ

住所変更 小林ゆみ議員(無難) 上萩2-17-11 サカエフ ラット荻窪107

電話番号変更 川野たかあき議員(立無) 090-6110-0309

会派名称変更(12月6日付) 「立憲民主党杉並区議団」から「立憲民主党・無所属クラブ」(会派名称略称・立無)へ名称変更しました。

傍聴についてのご案内

新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴にお越しの際はマスクの着用や受付時の検温、議場・委員会室への入室時の手指消毒にご協力ください。



区議会だよりをスマホで手軽に!

無料アプリ「マチイロ」を利用して、「杉並区議会だより」をスマートフォンやタブレット端末で読むことができます(アプリのダウンロードや情報の受信等には、通信料が発生する場合があります)。



議案等の概要と審議結果

【第5回臨時会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 令和3年11月5日議決

議案番号	件名	概要	自民	公明	共産	連携	立民	平和	無維	革新	結果
82号	令和3年度杉並区一般会計補正予算(第9号)	コロナ第6波への備えとしての保健所体制・医療体制の強化や、コロナワクチン3回目接種に向けた準備経費など、4事業8億2,588万4千円の増額補正	○	○	○	△ 賛成4	○	○	○	欠	可決

【第4回定例会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 除=除斥 令和3年12月3日議決(※は11月18日)

議案番号	件名	概要	自民	公明	共産	連携	立民	平和	無維	革新	結果
83号	杉並区職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	宣誓書への押印の義務付けの廃止等	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
84号	杉並区事務手数料条例の一部を改正する条例	長期優良住宅建築等計画認定申請手数料の改正等	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
85号	杉並区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	電磁的記録による記録、作成、保存等に係る規定の新設等	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
86号	杉並区立児童青少年センター及び児童館条例の一部を改正する条例	西荻北児童館の廃止等	○	○	×	△ 賛成2	○ 欠1	○	○	欠	可決
87号	杉並区立子ども・子育てプラザ条例の一部を改正する条例	子ども・子育てプラザ善福寺の設置等	○	○	×	△ 賛成2	○ 欠1	○	○	欠	可決
88号	杉並区地域公共交通活性化協議会条例	地域公共交通活性化協議会の設置等	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
89号	杉並区立杉並第二小学校及び併設2施設改築建築工事の請負契約の締結について	契約金額:29億9,200万円 契約の相手方:渡辺・佐藤・興信・松木 建設共同企業体	○	○	○	△ 賛成3	○	○	○	欠	可決
90号	杉並区立杉並第二小学校及び併設2施設改築電気設備工事の請負契約の締結について	契約金額:3億2,780万円 契約の相手方:協信・杉本 建設共同企業体	○	○	○	△ 賛成3	○	○	○	欠	可決
91号	杉並区立杉並第二小学校及び併設2施設改築給排水衛生設備工事の請負契約の締結について	契約金額:2億7,830万円 契約の相手方:吉田・ユーダイ 建設共同企業体	○	○	○	△ 賛成3	○	○	○	欠	可決
92号	杉並区立杉並第二小学校及び併設2施設改築空調設備工事の請負契約の締結について	契約金額:3億5,200万円 契約の相手方:峯尾・セントラル 建設共同企業体	○	○	○	△ 賛成3	○	○	○	欠	可決
93号	杉並区学校教育職員の教育管理職(副校長)任用審査に係る事務の委託について	杉並区学校教育職員の教育管理職任用審査に係る事務の委託	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
94号	特別区人事及び厚生事務組合規約の変更について	特別区人事及び厚生事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
95号	令和3年度杉並区一般会計補正予算(第10号)	コロナワクチン3回目接種や、抗原検査キットの購入に要する経費など、12事業18億5,723万8千円の増額補正	○	○	×	△ 賛成2	○ 欠1	○	○	欠	可決
96号	令和3年度杉並区国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	感染症感染者等への傷病手当金の支給について、申請期間の延長に伴う追加経費として、320万円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
97号	杉並区立上高井戸保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称:社会福祉法人 風の森 指定期間:令和4年4月1日から令和6年3月31日まで	○	○	×	△ 賛成4	○	○	○	欠	可決
98号	杉並区立高井戸保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称:社会福祉法人 東京家庭学校 指定期間:令和4年4月1日から令和7年3月31日まで	○ 除1	○	×	△ 賛成4	○	○	○	欠	可決
99号	杉並区立堀ノ内東保育園の指定管理者の指定について	指定管理者の名称:株式会社 プロケア 指定期間:令和4年4月1日から令和7年3月31日まで	○	○	×	△ 賛成4	○	○	○	欠	可決
100号	人権擁護委員候補者の推薦について ※	横山正(よこやま ただし)氏を候補者として推薦	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
101号	杉並区長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	区長等の給与の改定等	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
102号	杉並区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	職員の給与の改定	○	○	×	△ 賛成5	○	○	○	欠	可決
103号	杉並区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	会計年度任用職員の給与の改定	○	○	×	△ 賛成4	○	○	○	欠	可決
104号	杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	幼稚園教育職員の給与の改定	○	○	×	△ 賛成5	○	○	○	欠	可決
105号	杉並区学校教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	学校教育職員の給与の改定	○	○	×	△ 賛成5	○	○	○	欠	可決
106号	令和3年度杉並区一般会計補正予算(第11号)	子どもへの5万円の給付や、5歳から11歳のコロナワクチン接種に要する経費など、4事業29億4,599万3千円の増額補正	○	○	×	△ 賛成3	○	○	○	欠	可決
107号	令和3年度杉並区一般会計補正予算(第12号)	生活困窮者自立支援金支給事業の申請期間延長に伴う追加経費について、1事業1,851万1千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
報告15号	地方自治法第180条第1項の規定により指定された損害賠償額の決定の専決処分をしたことの報告について ※	3件の法律上の義務に属する損害賠償額を報告	-	-	-	-	-	-	-	-	報告聴取
議員提出議案 2号	杉並区議会会議規則の一部を改正する規則	議会への欠席届出に係る規定の改正	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決
議員提出議案 3号	杉並区議会として松下玲子武蔵野市長に対し武蔵野市住民投票条例案の撤回を、また武蔵野市議会に対し同条例案の否決を強く期待する決議	武蔵野市の隣接自治体であり、災害時相互協力協定も結ぶ杉並区の議会として、松下玲子武蔵野市長に対し武蔵野市住民投票条例案の撤回及び武蔵野市議会に対し同条例案の否決を強く期待する決議	×	×	×	△ 賛成2	×	×	×	欠	否決

【第6回臨時会】

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 令和3年12月20日議決

議案番号	件名	概要	自民	公明	共産	連携	立無	平和	無維	革新	結果
108号	令和3年度杉並区一般会計補正予算(第13号)	子育て世帯等への臨時給付金について、年内に現金10万円の一括給付を行うための経費など、2事業26億3,934万7千円の増額補正	○	○	○	○	○	○	○	欠	可決

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案・議決結果の一覧」でご覧いただけます。

《会派名・構成人数》(令和3年12月20日現在)

自民/杉並区議会自由民主党(15人)、公明/杉並区議会公明党(7人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、連携/無所属・少数会派連携(6人)、立無/立憲民主党・無所属クラブ(4人)、平和/いのち・平和クラブ(4人)、無維/自民・無所属・維新クラブ(4人)、革新/都政を革新する会(1人)

※「立民/立憲民主党杉並区議団(4人)」は「立無/立憲民主党・無所属クラブ(4人)」に会派名称を変更(令和3年12月6日付)

区議会基本条例の素案に意見をお寄せください！

区議会では、議会運営や議員活動のルールなど議会に関する基本事項を定め、議会の責任と役割をより明確にお示しするため、杉並区議会基本条例の制定に向け検討を進めています。この条例の素案について、皆さまから意見を募集します。

■ 閲覧場所



杉並区議会ホームページのほか、区議会事務局（区役所中棟3階）
※休業日を除く。

■ 閲覧・意見募集期間

令和4年1月31日（月）まで（必着）

■ 提出方法

はがき・封書・ファクス・Eメールまたは閲覧場所にある意見用紙にご記入の上、区議会事務局へお送りください。なお、ご意見には、住所・氏名（在勤・在学の方は、勤務先・学校の名称・所在地、事業者の方は事業所の名称・所在地・代表者の氏名）を記入してください。頂いた主な意見の概要とそれに対する区議会の考え方などは、杉並区議会ホームページ等で後日公開する予定です。

提出先

〒166-8570 杉並区役所 中棟3階 区議会事務局議事係
FAX 5307-0695 メール gikai-jorei@suginami-kugikai.jp

杉並区議会基本条例の構成

前文

第1章 総則

第1条 目的、第2条 他の条例等との関係

第2章 議会及び議員

第3条 基本理念、第4条 議会の運営及び活動方針、第5条 議員の活動方針、第6条 議長及び副議長、第7条 会派

第3章 区民と議会

第8条 区民との関係、第9条 会議の公開、第10条 広報活動の充実、第11条 区民意見の反映

第4章 議会と区の執行機関

第12条 区長等との関係、第13条 議決、第14条 執行機関の人事、第15条 調査及び説明要求

第5章 会議

第16条 定例会、第17条 臨時会、第18条 本会議、第19条 委員会、第20条 委員会の活動、第21条 質問・質疑及び討論、第22条 その他の会議

第6章 議員定数及び議員報酬等

第23条 議員定数、第24条 議員報酬、第25条 政務活動費

第7章 議会の体制

第26条 議会事務局、第27条 議会の施設

第8章 補則

第28条 条例の見直し、第29条 委任

条例の一部をご紹介します。

第8条（区民との関係）

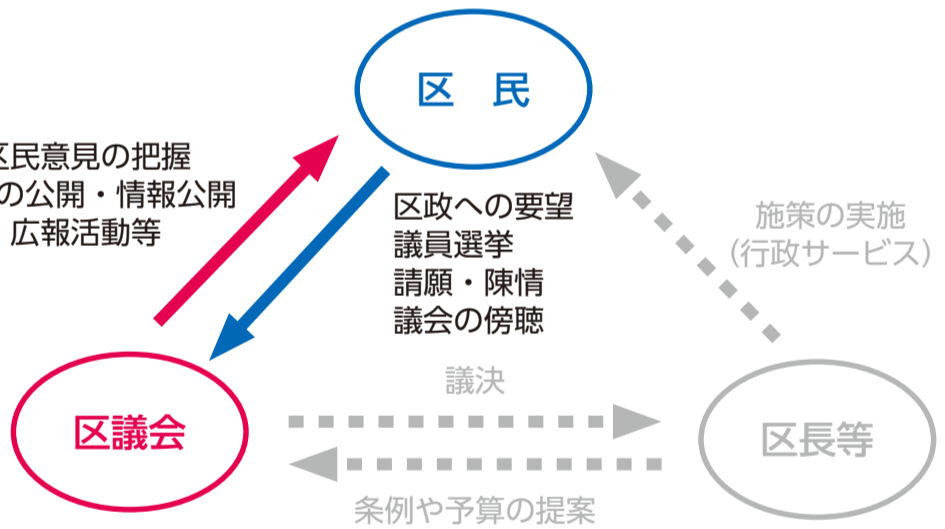
議会は、区民の多様な意見を把握し、議会活動に反映させるとともに、区民が議会活動に参加する機会の充実に努めるものとします。

（関係図は第8条の解説から）



条例内容をより理解していただけるよう条文ごとに解説を作成しています。

区民意見の把握
議会の公開・情報公開
広報活動等



議決

条例や予算の提案

区長等

施策の実施
(行政サービス)

Ⅱ 陳情の審査結果Ⅱ

【採択】

◇ゼロカーボン達成に向けた取組みの推進に関する陳情（3陳情第16号）
◇杉並区ゼロカーボンシティ宣言に関する陳情（3陳情第27号）

【不採択】

◇小学生へのICT教育、および教育現場のICT活用における、杉並区教育委員会への取り組みについて改善を求める陳情（3陳情第26号）
◇杉並区立自転車駐車場条例の改正に関する陳情（1陳情第30号）

【みなし不採択】

◇善福寺児童館の廃館・機能移転に関する陳情（3陳情第9号）

全員協議会を開催しました

令和3年12月3日に全員協議会を開催し、議会および議員に関する基本事項を定めた「杉並区議会基本条例素案」と策定までのスケジュールについて、協議しました。議会改革特別委員会の委員長が条例素案の説明を議員に対して行い、それを受けて様々な質疑が行われました。全員協議会の会議録は、杉並区議会ホームページに掲載予定です。



次回の令和4年第1回定例会では、令和4年度予算案を審査予定です！

【開会日時】 2月9日（水）午前10時〈予定〉

会議の詳しい日程は、開会の約1カ月前に杉並区議会ホームページ等でお知らせします。また、本会議や予算特別委員会は議会中継でもご覧になれます（予算特別委員会は録画中継のみです）。

